

# 〇〇市における地域ケーブルネットワーク整備事業 整備エリア図 (例)

- 三セク所有施設、市所有施設のIRU契約など、所有形態を問わず、ケーブルテレビ事業者が利用しているネットワークの構成が分かるように、整備エリア内の既設のネットワークについてすべて記載すること。
- IRU契約等を締結している場合は、その旨記載すること。
- 地形が分かるような地図の使用、災害警戒区域の表示に留意し、既設のネットワークと新設のネットワークの表記の違い、所有者が分かるよう記載すること。
- 本事業(複線化、無線化等ごと)によりカバーされるエリアの世帯数およびその加入世帯数について記載すること。

◇◇地区  
【新設異ルートカバー世帯数】  
〇〇世帯(◇◇地区)  
うちケーブルテレビ加入世帯△△世帯  
(加入率〇〇%)

● 異ルート整備によりカバーされる世帯数およびその加入整数について記載すること。

新設する■■地区への異ルート(ループ化)

異ルート整備によりカバーされる世帯数およびその加入整数について記載すること。

老朽化した伝送路の更改

断線想定箇所  
土砂災害警戒区域

断線影響エリア  
◇◇地区

断線した場合重大な支障が想定される箇所

新設する◇◇地区への異ルート(複線化)

老朽化した伝送路の更改

● 監視・制御機能の強化に係る整備を行う場合、その概要、当該整備によりカバーされる世帯数およびその加入世帯数、加入率について記載すること。

● 想定される災害を明記すること

- 凡例を必ずつけること。
- また、本事業業に、補助対象部分と、補助対象外部分が含まれる場合は、凡例で明示すること。

(例) 赤…補助対象部分  
青…補助対象外部分  
緑…共有部分

【監視・制御機能の強化】  
地図上のエリア内(○箇所)に監視・制御機能を備えた光ノードを新設。  
  
エリア内世帯数  
〇〇世帯(〇〇市)  
うちケーブルテレビ加入世帯△△世帯  
(加入率〇〇%)

● 既設のネットワークと新設のネットワークを記載すること。

ケーブルテレビ局舎  
既設ヘッドエンド

【凡例】

	新設する光幹線(自社所有。複線化、一部無線化)
	更改する既設光幹線(市所有)
	既設光幹線(自社所有)
	既設光幹線(市所有。〇〇市よりIRU契約で貸与)
	ループ化の対象区域
	辺地指定地域

- 事業計画書と対応関係が分かるようにすること。
- 断線した場合の影響エリアが分かるようにすること。
- 条件不利地域の範囲が正確に分かるようにすること。
- 老朽化した既設伝送路設備の更改を行う場合、同時に行うループ化等の対象区域が分かるようにすること。

(記載イメージ)

# 〇〇市回線系統図

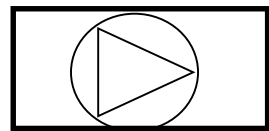
○回線系統図については、各団体(事業者)の使用する様式を使用して差支えないが少なくとも以下の内容が分かるものであること。

○回線系統図は、現行ネットワークを図示したもの及び補助事業で整備した後のネットワークを図示したものの2種類を作成すること。

既存の光ファイバーを使用する場合には、その芯線数、距離を明示するとともに、その旨を記載すること。

16C/0C/0C/14C(2C)/Om  
※既設の光ファイバーを活用

## 〇〇市ケーブルテレビ局舎



20C/0C/0C/16C(2C)/Om  
※既設の光ファイバーを活用

凡例を必ずつけること。  
また、本事業で新設(更新)する光ファイバーに、補助対象部分と、補助対象外部分が含まれる場合は、凡例で明示すること。

- (例) 赤…補助対象部分  
青…補助対象外部分  
緑…共有部分

### 凡例

・ OC/OC/OC/OC(OC)/Om

↑全芯数/新設(更改)芯数/補助対象芯数/使用芯数(うち既設活用芯数)/敷設距離

- 補助対象(ループ化等による新設)
- - - 補助対象(老朽化した既設伝送路の更改)
- 既設

- 新設クロージャ
- 既設クロージャ
- ◆ 既設ノード
- 辺地指定地域の境界地点

末端は、HFCであればノードまで、FTTHであれば、PON方式の場合、分岐装置までの配置が把握できること、また、SS方式の場合は、加入者に最も近接しているカブラまで把握できるものとする。

